

いもじいさんの碑



よみ	いもじいさんのひ
指定	市指定有形文化財
種別	歴史資料
所在地	御前崎市御前崎
所有者	海福寺
指定日	昭和49年9月19日



宝篋印塔

解説

いもじいさんとは、御前崎でさつまいもの栽培を最初に行い、この地方にさつまいもの栽培を広げた大澤権右衛門のことです。

大澤権右衛門は、元禄7年(1694)に御前崎の内浜の一角、駿河湾に程近い家に生まれました。明和3年(1766)の春、1隻の難破船を見つけました。この船は、九州の薩摩藩の豊徳丸という船で、薩摩藩の用物を運ぶ途中であったといえます。権右衛門親子らは村人を集め、船員24名を助けました。そして、彼らに衣類や食事を与え、手厚く介抱しました。

その際、薩摩藩はお礼に金20両を差し出そうとしましたが、難破した船を助けるのは村の慣わしだと言って断り、その代わりに難破していた豊徳丸が積んでいたさつまいもをもらい受け、その栽培方法を教えてもらいました。以来、御前崎にさつまいもの栽培が広がっていきました。

大澤権右衛門は安永7年(1778)に亡くなりましたが、この地方にさつまいもの栽培を広めた功績は大きく、村人達は百年忌に当たる明治11年(1878)、海福寺に「宝篋印塔(供養塔)」を建立し、その後明治41年(1908)にさつまいも伝来の経緯を記した「いもじいさんの碑」を建て心から感謝の気持ちを表しました。

